

ひろさき

編集発行 弘前市市民環境部広報広聴課 No. 63

平成 20 年 10 月 1 日号
(2008)

■後は頼む！よし任せとけ！

9月5日、秋晴れのもと、第56回弘前市小学校連合体育大会が運動公園で開催されました。各小学校の5・6年生約3,600人が参加し、男子は制定体操、女子はダンスを披露。400mリレーなどのトラック競技では、各校の代表選手が熱戦を繰り広げました。

特 集

齋藤春香さんに市民栄誉賞 P. 2

津軽の食と産業まつり P. 3

●市 政 / 10月 は 3 R 推進月間 ほか P. 4

●お知らせ / 催し、教室など P. 6

●健 康 / 保健センターだより ほか P. 14



齋藤春香さんに市民栄誉賞

感動・興奮
齋藤ジャパン！

【経歴】 昭和 45 年弘前市生まれ。時敏小・一中・中央高卒業後、日立ソフトウェアで活躍。



相馬市長から市民栄誉賞と盾を贈られる齋藤さん

北京五輪ソフトボールで日本チームを金メダルに導いた齋藤春香監督（弘前市出身）に、9月18日、当市では初となる「弘前市民栄誉賞」を贈り偉業をたたえました。

齋藤春香さんは選手として3大会連続で五輪に出場。96年、アトランタで4位、00年、シドニーで銀メダルを獲得し、女性選手としては県内初のメダリストに。また04年、アテネでは銅メダルを獲得するなど、チームの中心選手として活躍してきました。

そして今回の北京五輪では、監督として選手の育成・強化などに指導力を発揮し、選手時代に手にできなかった悲願の金メダルへとチームを導きました。

「信念と感謝で獲得した金メダル」と語る齋藤春香さん。弘前市民のみならず、日本中に大きな感動と興奮を与え、日本スポーツ史に残る栄冠を獲得した齋藤春香さんは弘前市民の誇りです。

自分の可能性を信じ、夢を追って

北京五輪から故郷へ凱旋（がいせん）し、母校などを訪問した齋藤春香さんにお話を伺いました。

ソフトボールを始めたきっかけは：「弘前一中で始めたんですけれども、その前に野球をやっていたので、野球に一番近い競技がソフトボールでしたので」

世界の頂点に立った感想は：「まだ実感はないんですが、弘前にいたときから自分の可能性というものを信じて、ずっと夢を追ってというか、世界一を目指してこまできました。皆さんにご指導いただいていた、いろいろ経験させてもらって社会人になったことに本当に感謝しています」

選手の方から世界に一個の手作りの金メダルをもらったということですが：「紙で作られていて軽いんですけども、本当にいろんな思いの詰まっている、一番重みのあるメダルだと思います。大事にしたいと思います」

これからの夢は：「自分の生まれた弘前の地から積み重ねて、世界中の人たちにソフトボールのすばらしさを伝えていきたいと思っています」

弘前の子どもたちに一言：「夢に向かって、本当に自分の好きなことをがんばってほしいなと思います。その一心で私もこまできましたので。長所を伸ばしながら、失敗を恐れずに」



子どもたちに囲まれ笑顔の齋藤監督（時敏小）

10月17日～19日

津軽の食と産業まつり



今年も、克雪トレーニングセンターを主会場に、地元生産品や生活関連商品を一堂に紹介する、「津軽の食と産業まつり」が開催されます。楽しいイベントも盛りだくさん。津軽の「食」と「産業」を、楽しみ、味わい、学んでみませんか。

「津軽の食と産業まつり」は、弘前市や津軽地域の産業・歴史・文化をよりいっそう振興させることを目的に、消費の中心をなす「食」と地元根付いた「産業」を紹介するイベントです。

会場では、地元生産品や生活関連商品、住宅機器、農産物の販売など、内容も充実。皆さんお誘い合わせの上、おいでください。

▽とき 10月17日（金）19日（日）、午前10時～午後6時（最終日は午後5時まで）

▽ところ 主会場Ⅱ克雪トレーニングセンター（豊田2丁目、運動公園内）

▽イベント内容

【屋外テント村】 エントランス広場では、ラーメン、そば、肉料理、海産物、農産物販売コーナーなどを設け、皆さんをお迎えします。「食」を存分にお楽しみください。

【友好都市・物産交流都市コーナー】 友好都市の北海道斜里町と群馬県太田市のほか、今年は新たに物産交流都市の岡山県岡山市の海産物・農産物などの特産品を紹介、販売します。

【ステージイベント】 保育園児による演奏・演技、小・中学生・高校生によるバスバンド演奏、ストリートダンス、

【「将来の夢」コンクール作品展示】 市内小学校5年生の「将来の夢」を題材にした絵と作文を展示。

【展示・相談コーナー】 水道や下水道の仕組みや救急医療に関する取り組みの紹介、緑の相談窓口の開設など。

【お楽しみ抽選会】 お買い上げ500円ごとにお買い物抽選補助券を1枚差し上げます（2枚で1回抽選できます）。

切取ってご利用を
お楽しみ抽選券
本券を持参すると、1回抽選できます。
1人1枚限り
※コピー不可
津軽の食と産業まつり



屋外のテント村では新鮮な地元農産物を販売

賞品は、多数用意しています（空くじなし）。

【献血コーナー】 10月18日（土）に、エントランス広場に献血バスが来ます。献血は命を支えるボランティアです。皆さんのご協力をお願いします。

■今年も新たな出店がたくさんあるほか、お楽しみゲームコーナーなどもあります。

■会期中は、無料シャトルバスを運行します。ぜひご利用ください（上表参照）。

▽問い合わせ先 津軽の食と産業まつり運営協議会（上鞆師町、弘前商工会議所内、☎33・4111）

松原循環コース

まつり会場発
9:10から1時間おき 最終 18:10

会場発
↓ 椿町
↓ 松森町角
↓ 三中校前
↓ 実業高校前

会場着
↑ 五中校前
↑ 小比内東口
↑ 安原3丁目
↑ 上松原

無料シャトルバス
発車時間と運行コース

城西コース
城西3丁目発
9:30から1時間おき 最終 16:30

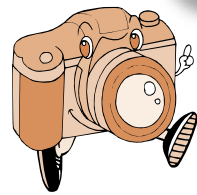
城西3丁目着
↑ 大学病院前
↑ 下土手町①
↑ 中土手町
↑ 椿町
↑ 会場発

まつり会場発
11:00から1時間おき 最終 18:00

※交通事情などで、時間が前後する場合があります。

■問い合わせ先
津軽の食と産業まつり運営協議会（☎ 33・4111）

まちの話題を写真で紹介します。



まちの話題

弘前写真館



9月14日

カルチャロード

晴天に恵まれた9月14日、土手町通りを歩行者天国にして、さまざまな団体の活動を紹介する「カルチャロード」が開催され、健康や環境に関するものから、交通安全、応急手当に関するものまで、さまざまな分野の紹介ブース、出店が立ち並び、大勢の市民でにぎわいました。

交通安全に関するブースでは、子どもたちが景品獲得を目指して交通ルールに関する問題に挑戦。家族で楽しみながら交通安全の意識を高めていました。

9月14日・15日

りんご公園でひょう太君を販売

9月14日・15日の両日、りんご公園（清水富田字寺沢）で、ひょう害りんご「ひょう太君」の販売が行われました。

今回販売されたのは、りんご公園で収穫されたつがる、未希ライフ、さんさ、きおうの4種類。1袋4^キ入り（中玉で約12個入り）400円の値段に足を止める来園者たちに、傷が付いていてもおいしいことをPRしていました。



9月15日

敬老会で長寿を祝う

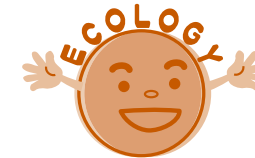
9月15日の敬老の日、岩木文化センター「あそべる」（賀田1丁目）で岩木地区の敬老会が開催されました。会では80歳到達夫婦8組、90歳到達者2人、金婚を迎えた夫婦1組への記念品贈呈などを行い、参加者の健康と長寿を祝いました。

また、式典終了後のアトラクションでは、地元の保育所の子どもたちによる芸能発表や岩木地区社会福祉協議会役員らによる寸劇などが行われ、会場は大きな拍手と笑い声に包まれていました。



3R（フリーアール）

- リデュース (Reduce)** 廃棄物の発生抑制
→ごみを減らそう。物を大切にしよう
- リユース (Reuse)** 製品・部品の再利用
→繰り返し使おう
- リサイクル (Recycle)** 再生資源の利用
→再び資源として利用しよう



地球に優しく

10月は3R

(リデュース・リユース・リサイクル)

推進月間



循環型社会形成のためには、国民・事業者・行政が互いに協力して3Rの取り組みを進めていくことが重要であるとして、リサイクルに関係する経済産業省や内閣府などの8府省が一体となり、毎年10月を3R（リデュース・リユース・リサイクル）推進月間と定め、広く国民に向けて普及啓発活動を行っています。

「10月は3R推進月間で、すー」と言われても、あまりピンとこないかもしれないが、この推進月間をきっかけに「3R」がどういうことかを意識し、私たちが身近な暮らしの中で取り組めることを見つけていきましょう。

「3R」を実行するには、例えば下図のような取り組みがあります。

■問い合わせ先 環境保全課 リサイクル推進係（☎内線219・450）

リサイクル…再生資源の利用

再び資源として利用しよう



資源である新聞、雑誌み等を回収ステーションに持ち込む

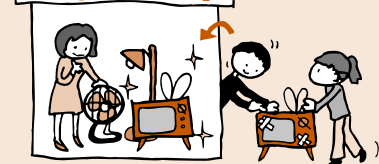


白色トレイ、牛乳パック等を回収しているスーパーなどに持ち込む

リユース…製品・部品の再利用

繰り返し使おう

Recycle Shop



フリーマーケットやリサイクルショップを利用する

リデュース…廃棄物の発生抑制

ごみを減らそう・物を大切にしよう



マイバック、マイはしを持参する
修理できるものは修理をし、長く使う



食べ残しをしない

5)

市の公共施設の無料対象年齢を65歳以上に引き上げます

現在、60歳以上の市民の使用料を無料にしている市の公共施設（岩木山百沢スキー場は減額）について、平成21年4月1日から、無料とする年齢を65歳以上に引き上げます（対象施設は市内にある39施設）。

▽経過措置 平成21年3月31日までの期間は、新しい制度への経過措置期間として、60歳以上の市民は従来どおり施設利用券などにより各施設を無料で使用できます。

また、経過措置期間中に60歳になった人は、その日から平成21年3月まで、施設の窓口へ保険証や免許証等の年齢や住所を証明できるものを提示すると、施設を無料で使用できます。

▽施設利用券 これまで60歳以上の市民に発行していた施設利用券は、5月以降は発行を取りやめ、券を紛失した人への再交付や60歳以上の転入した人への交付もしていません。また、現在お持ちの施設利用券は、平成21年4月から無効となります。

※高齢者の年齢や住所の確認は、各施設の窓口で保険証や免許証などで行います。

▽その他 平成21年4月以降に、交流センターや老人福祉センターなどの有料の部屋を、65歳以上の人と65歳未満の人が一緒に使用する場合は、65歳未満の人にも無料となります。

▽問い合わせ先 福祉総務課（☎内線365）

命を大切にすることを育む 県民運動推進フォーラム

青森県では、次代を担う子どもたちが命を大切にし、他人への思いやりを持ち、たくましく健やかに生きていくよう育てていくため、命を大切にすることを育む県民運動推進フォーラムを開催します。命の大切さについて一緒に考えてみませんか。

▽と き 10月19日(日)
午後1時～4時
▽ところ 総合学習センター(末広4丁目)

▽内 容 「おかあさんがおかあさんになった日」などの作品で家族のきずなを描く絵本作家 長野ヒデ子さんの講演／知事との対談／命をテーマにした絵本の原作募集の表彰式など

▽定 員 340人(当日の入場も可能ですが、事前に申し込みした人を優先)※託児あり。希望者は申し込みを。

▽入場料 無 料

▽問い合わせ・申込先 青森県青少年・男女共同参画課(☎青森017・734・9226、ファクス017・734・8050、Eメール seishonen@pref.aomori.lg.jp)



駅前市民ホールほっとシアター

▽日 程 10月16日＝「ぼくのお姉さん」「天皇陛下～古希をお迎えになつて」／11月20日＝「映画で見る昭和30年代の日本・家族の生活 都会の子どもたち編」／12月18日＝「ビデオで見る古典落語 春風亭柳橋『菊蔭問答』」「風のひびき」※いずれも午後0時半開場、1時上映。満員の場合、入場できないことがあります。

▽ところ 駅前市民ホール(駅前町、ジョッパル4階)

▽入場料 無料(駐車場4時間無料)

▽問い合わせ先 駅前市民ホール(☎34・1112)

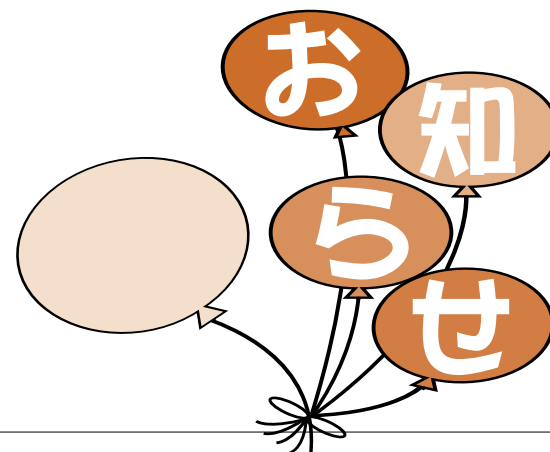
▽入場料 無 料
▽問い合わせ先 月・水・金曜日の午前10時～午後3時に、弘前大学人文学部附属雇用政策研究センター(☎39・3198、Eメール eprc@cc.hirosaki-u.ac.jp)へ。
青色申告会文化展
税知識の普及活動を行っている弘前青色申告会では、会員の絵画などの作品展を開催します。
▽と き 10月17日～19日
午前10時～午後4時
▽ところ 百石町展示館(百石町)
▽内 容 絵画、彫刻、書道、陶芸、写真など
▽入場料 無 料

▽問い合わせ先 弘前青色申告会(☎33・4400)
弘前学院大学講演会
「新渡戸稲造とその水脈」
新渡戸稲造の教育学や慈善事業、社会事業について講演します。
▽と き 10月18日(土)
午後2時～4時
▽ところ 弘前学院大学(稔町)1号館115番教室
▽講師 八木橋鉄弘さん(弘前学院大学社会福祉学部講師)、成田育男さん(元青森明の星短期大学教授)、松本郁代さん(弘前学院大学社会福祉学部准教授)
▽対象 市民
▽入場料 無 料

▽問い合わせ先 弘前学院大学地域総合文化研究所(☎34・5211)
弘前大学総合文化祭
今年も恒例の「弘大祭」の季節がやってきました。3日間にあたる楽しい催しに出掛けてみませんか。弘前大学との協定を記念した弘前市のブースもあります。
▽と き 10月24日～26日
▽ところ 弘前大学文京町キャンパス
▽テーマ 「太陽」
▽内 容 ○知の創造(各学部の特微的な研究を分かりやすく紹介)：ミニ特別展 成田彦栄コレクションにみる縄文の造形／雇用政策研究センター研究成果公開／ラテンアメリカの民芸品と楽器展／スポーツフェスティバル2008「遊びのバイキング」／青森県の健康／磁気科学の未来／環境と健康、そして宇宙／地域を究極のCCU(Corany Care Unit 冠疾患集中治療室)に／サイエンスへの招待／楽しい科学／公開講座「世界のとうがらしと清水森ナンバの魅力」○各種展示・模擬店 ○よさこい弘大 ○駅伝大会 ○音楽系サ

ークルコラボコンサート ○職員芸術・造形作品展 ○花火 ○学長主役イベント
▽問い合わせ先 弘前大学総務部総務課(☎39・3007、39・3012、ホームページ http://www.hirodaisai.com)
※弘前市のブース：10月25日・26日の午前10時～午後4時に、JAつがる弘前によるりんご(ワンパクりんご「ひょう太君」ほか)の格安販売、VIC・ウーマンヒロサキと弘前里山ツーリズム研究会による新鮮野菜の販売、りんごジュース無料試飲会、青森県漆器協同組合連合会による津軽塗の販売を実施。詳しくは市企画課(☎内線527)へ。
鷹ヶ丘老人福祉センター作品展
鷹ヶ丘老人福祉センターが行っている「生きがい教室」(俳句・書道・絵画)の作品展を開催します。
▽と き 10月29日～31日
午前10時～午後4時
※29日は正午から。
▽ところ 弘前文化センター(下白銀町)1階美術展示室
▽問い合わせ先 鷹ヶ丘老人福祉センター(☎32・7260)

●弘前市役所
☎35・1111
●岩木庁舎
☎82・3111
●相馬庁舎
☎84・2111



催し

サタディプラン

土曜日に小・中学生を対象に開催します。参加は無料です。みんなで参加しよう！

▽日程・会場

【弘前文化センター(下白銀町)プラネタリウム】

○みんなで星空散歩(季節ごとの星座解説) 10月4日・11日・18日・25日の午前10時半～11時／中央公民館(☎33・6561)
【弘前図書館(下白銀町)】
○図書館ワンプク探検(館内探検と図書館業務の体験)
10月18日の午前10時～正午／弘前図書館(☎32・3794)

【郷土文学館(下白銀町)】
○親子文学館散歩(親子で展示を観覧) 10月4日・11日・18日・25日の午前10時～正午／郷土文学館(☎37・5505)

【市立博物館(下白銀町)】
○親子鑑賞会(作品の鑑賞) 10月4日・18日・25日の午前9時半～正午／市立博物館(☎35・0700)

▽問い合わせ先 各会場へ。

ボランティア井戸端会議

※プラネタリウム、郷土文学館、市立博物館は市内の小・中学生はいつでも無料です。サタディプラン以外の日もご利用ください。

ボランティア活動者やボランティアに関心のある人を対象に、自由な意見・情報交換、ネットワーク作りの場として月1回開催しています。

▽と き 10月11日(土)

午後1時半～3時半
▽ところ エーラスイングリッシュスクール(大町1丁目)

▽内 容 ①「若木山が好きなんだ！」：ゲスト・若木山プロジェクト(若木山観光協会)の小山伸吉さんのお話と交流 ②「外国人に会ったら笑顔で『こんにちは！』から」：ゲスト・弘前を英語で紹介する観光ボランティアを広めようと考えている桜庭みゆきさんのお話と交流

▽参加料 無 料
※事前の申し込みは不要。
▽問い合わせ先 水・土曜日：ボランティア支援センター(下白銀町、弘前文化センター11階、☎38・5595、日・月曜日は休館)／火曜日：総

白神研究会観察会

「白神岳西面のヒバ林」

▽と き 10月11日～12日
※1泊2日、雨天決行。

▽集 合 11日の午前11時、白神岳登山道駐車場(深浦町黒崎)

※送迎を希望する人は、事前に申し込みをし、11日の午前8時半に弘前大学(文京町)正門に集合してください。

▽内 容 11日＝白神岳登山道二股コースの二股までの往復、弘前大学深浦ハウス(深浦町深浦)に宿泊／12日＝行合崎などの見学(正午ごろに弘前へ帰着)

▽対 象 中学生以上15人(先着順)

▽参加料 3700円(保険料、食費、宿泊費、テキスト代、雑費として)

▽持ち物 ハイキング用の服装、トレッキングシューズ、長靴、手袋、帽子、虫よけ、かゆみ止め、雨具、11日の昼食、飲み物
※地図を用意する場合は、2

第4回雇用政策研究センターフォーラム

青森県内の雇用実態を紹介し、これから就業を目指す若者や保護者、教育関係者に、現代の若者たちが抱える働くことへの問題を幅広く理解してもらうため、「青森県で生きる若者たち」をテーマに開催します。

▽と き 10月17日(金)

午後6時～8時半
▽ところ 駅前市民ホール(駅前町、ジョッパル4階)

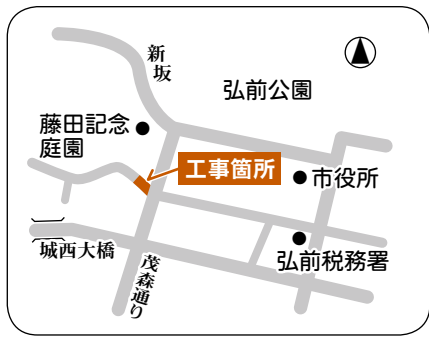
▽内 容 「青森県で生きる若者たちの姿」：講師・李永俊さん(弘前大学人文学部准教授)／「意識の問題？本当に？」：講師・石黒格さん(弘前大学人文学部准教授)／「働くこと・生活すること・生きること」：講師・玄田有史さん(東京大学社会科学研究所教授)
▽対 象 市民1200人

都市計画道路 3・4・5 号上白銀町 新寺町線整備工事に伴う

車両全面通行止め

市では、都市計画道路 3・4・5 号上白銀町新寺町線（通称茂森通り）の整備工事を進めています。これに伴い、市道新町線（通称新町坂）の改良工事が必要となることから、次の期間、歩行者と自転車を除いて車両は全面通行止めとなります。工事期間中ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。

▽期 間 10 月 20 日～11 月 30 日（終日）
▽問い合わせ先 都市計画課事業係（☎内線 447）



公開講演会

「磁気科学の未来」

弘前大学総合文化祭「知の創造」の一環として開催します。最新の磁気科学技術の成果を環境や健康分野を中心に紹介し、さらに未来の宇宙開発に関連した磁気科学についても触れます。

▽と き 10 月 24 日（金）
午後 6 時～7 時半
▽ところ 駅前市民ホール（駅前町、ジョッパル 4 階）
▽テーマ 磁気科学の未来と環境と健康、そして宇宙
▽講師 宮越順二さん（弘前大学大学院保健学研究科教授）
▽対象 中学・高校生、一般
▽入場料 無料
▽問い合わせ先 弘前大学大学院保健学研究科総務グループ（☎ 39・5905）



県サポートステーション & ジョブカフェセミナー

「働きたいけどどうしたら

よいか分からない」「定職に就きたいけどどうしたらいいの か」「働いて欲しいけど家族としてどう対応したらよいか分からない」など悩んでいませんか。社会的自立について、一緒に考えたり情報交換をします。

▽と き 10 月 4 日（土）
午後 1 時～4 時
▽ところ 弘前文化センター（下白銀町）
▽内 容 第一部Ⅱ講演「ニート・フリーター問題や社会的ひきこもりについて一緒に考えてみませんか？」／第二部Ⅱ意見交換
▽対象 おおむね 35 歳までの若年無職者・年長フリーター、社会的ひきこもり者、保護者
▽参加料 無料
▽問い合わせ先 青森県若年者就職支援センタージョブカフェあおもり（☎青森 017・731・1311）／青森県若者サポートステーション（☎青森 017・735・1323）／弘前保健所（☎33・8521）

第 25 回おはなしと 読み聞かせ講習会

▽と き 10 月 25 日（土）
午後 2 時～4 時

▽ところ 弘前図書館（下白銀町）2 階視聴覚室
▽対象 読み聞かせに関心のある人Ⅱ 30 人（先着順）
▽講師 岩崎眞里子さん
▽参加料 無料
▽問い合わせ・申込先 10 月 5 日から、弘前図書館（☎ 32・3794）へ。

古文書読み方講習会

弘前図書館が所蔵している藩政時代の古文書を活用した、古文書の基礎事項と読み方についての講習会です。

▽と き 11 月 8 日・15 日・22 日・29 日（計 4 回）、午後 2 時～4 時
▽ところ 弘前図書館（下白銀町）2 階視聴覚室
▽講師 荻野看生子さん（前弘前古文書解説会会長）
▽対象 高校生以上の主に初心者Ⅱ 30 人（先着順）
▽受講料 無料（ただし、テキスト代として 700 円が必要）
▽問い合わせ・申込先 10 月 31 日までに、弘前図書館（☎ 32・3794）へ。

エコ・クッキング

地元で取れた旬の秋野菜を

10 月 1 日～7 日は「法の日」週間

知っていますか？

裁判員制度

【平成 21 年 5 月 21 日から始まります】

裁判員制度は、国民の皆さんに裁判員として重大な事件の刑事裁判に参加してもらう、「被告人が有罪かどうか」「有罪の場合はどのような刑にするか」を裁判官と一緒に決めてもらう制度です。

この制度は、選挙人名簿をもとに作成された裁判員候補者名簿の中から無作為に選ばれた人が裁判員となって裁判に参加することにより、市民感覚を裁判の内容に反映させ、その結果として司法に対する理解と信頼が深まることを期待して導入されるものです。

なお、平成 21 年の裁判員候補者名簿に載った人には、今年の 12 月ころまでにそれぞれ通知が届きます。

裁判員制度に関する詳しい内容は、検察庁ホームページ <http://www.kensatsu.go.jp/> に掲載しています。また、青森地方検察庁では、裁判員制度の意義や内容について理解してもらうため、無料説明会や DVD・ビデオの無料貸し出しを行っていますので、ぜひ

ご利用ください。

▽問い合わせ先 青森地方検察庁企画調査課（☎青森 017・722・5214）
【裁判所の市民講座 法の日週間広報行事】

青森地方裁判所弘前支部では、裁判所の各制度を正しく理解してもらうため、市民講座を開催しています。

今回は法の日週間広報行事を兼ねた特別版で、裁判員制度の模擬裁判も行います。

▽と き 10 月 16 日（木）
午後 1 時 15 分～4 時半ころ
※午後 1 時から庁舎 1 階ロビーで受け付け。
▽ところ 青森地方裁判所弘前支部（下白銀町）
※駐車場が狭いため、自家用車での来庁はご遠慮ください。
▽内 容 裁判員制度の解説、裁判員制度模擬裁判、裁判所施設見学、ビデオ上映など
▽定 員 90 人
※事前に電話で申し込みを。
▽参加料 無料
▽問い合わせ・申込先 青森地方裁判所弘前支部庶務課（☎ 32・4321）

▽内 容 「後期高齢者医療制度のしくみ」：講師・市国保年金課職員
▽対象 市内在住の 60 歳以上の人
▽受講料 無料
▽問い合わせ・申込先 電話で、中央公民館（☎ 33・6561）へ。

思いやりのある

地域（まち）づくり

弘前市東部人権教育・学習推進協議会では、思いやりのある地域づくりのため、各種講座を開催します。

10 月の講座は次のとおりです。皆さんの参加をお待ちしています。

【津軽三味線の生みの親「仁太坊の人生」】
▽と き 10 月 18 日（土）
午後 1 時半～4 時
▽内 容 津軽三味線演奏ほか
▽講師 大條和雄さんほか演奏者の皆さん
▽定 員 90 人
【人権感覚あふれるプレゼンテーションを学ぼう】
▽と き 10 月 26 日（日）
午後 1 時～4 時
▽内 容 生活や仕事の中で生かせるプレゼンテーション

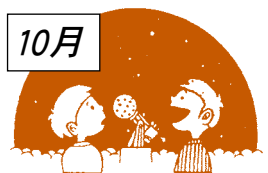
▽講師 山本志都さん（青森公立大学准教授）
▽定 員 30 人
（共通事項）
▽ところ 総合学習センター（末広 4 丁目）
▽参加料 無料
▽問い合わせ先 弘前市東部人権教育・学習推進協議会事務局（末広 4 丁目、市立東部公民館内、☎ 27・5800）
※この事業は、文部科学省の委託事業で、県教育委員会、市教育委員会、市立東部公民館が実施しています。

少年少女ソフト ボール教室

▽と き 10 月 1 日・2 日・5 日、11 月 6 日・9 日・10 日の午後 7 時～9 時
▽ところ 克雪トレーニングセンター（豊田 2 丁目）
▽内 容 基本動作の習得と応用したゲームまで
▽対象 小学生
▽参加料 無料（スポーツ安全保険に加入を）
▽持ち物 運動のできる服装、グローブなど
▽申し込み 当日直接会場です
▽問い合わせ先 弘前市ソフトボール協会（菊池さん、☎ 88・2327）

プラネタリウム

10月



弘前文化センター

【一般投影】

★テーマ 秋の夜長の星ものがたり

★とき 平日＝午後1時半、午後3時／日曜日、祝日＝午前10時半、午後1時半、午後3時（各45分間投影）※土曜日は“くつろぎプラネ”と“みんなで星空散歩”を投影。

★休み 7日・14日・21日・28日・31日

【くつろぎプラネ】

★テーマ 秋の星座

★とき 毎週土曜日の午後1時半と午後3時（各45分間投影）

★観覧料（一般投影・くつろぎプラネ共通）

一般＝240円

高校生＝120円

※60歳以上の市民、市内の小・中学生や障害者、外国人留学生は無料。

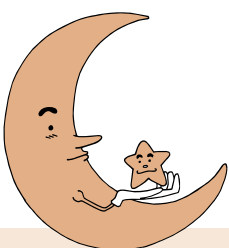
【みんなで星空散歩】

★テーマ 秋の黄道星座

★とき 毎週土曜日、午前10時半～11時

★観覧料 無料

★問い合わせ先 中央公民館（☎33・6561）



●弘前市役所

☎35・1111

●岩木庁舎

☎82・3111

●相馬庁舎

☎84・2111

名前や生年月日を確認してください。記載間違いがあったり、届かない場合は、国保年金課か各総合支所民生課、各出張所へご連絡ください。

なお、8月末現在で作成していますので、9月以降に社会保険などに加入したり、住所などに変更があったときは、訂正が必要になる場合があります。

特別な事情がなく保険料を納めていない人には、短期被保険者証や窓口全額自己負担となる被保険者資格証明書を交付しています。保険証や保険料、国民健康保険制度について不明な点がありましたらお問い合わせください。

▽問い合わせ先 国保年金課 国保保険料係（市役所1階、

窓口158、☎内線207・210）

※有効期限が過ぎた被保険者証は廃棄してください。

休日・夜間納税相談日のご利用を

収納課では、平日の日に納税相談ができない人のために、「休日・夜間納税相談日」を設けています。

納付できない特別な事情がある人は、未納のままにせず相談においでください。また、この日は電話での相談や市税などの納付もできます。

▽夜間納税相談 10月21日（23日の午後5時15分～7時半）

▽休日納税相談 10月26日（日）の午前9時～午後4時

※毎月第4日曜日は納税相談日です。

▽問い合わせ・受付場所 収納課（市役所2階、窓口205、☎内線236・391・403／夜間・休日：☎32・1085、32・1096、35・1269）

降霜・降ひょう被害農業者の皆さんへ

降霜・降ひょう被害で国民年金保険料の納付が困難な場合、天災での被害を理由とした「特例」の免除等制度を利用することがあります。また、被害農業者の認定を受けた人の世帯に属する被保険者も特例免除等の対象となります。

この場合、市が発行する「農

業被害認定書」の写しを免除等申請書に添付する必要があります。

「農業被害認定書」は、農政課（岩木庁舎）、農林部弘前分室（市役所2階）、相馬総合支所総務課が発行窓口となっています。

なお、認定を受ける前に免除等申請書を提出した人は、今回の認定を受けたことで、前回の申請時と状況が異なりますので、再度申請する必要があります。

▽問い合わせ先 国保年金課 国民年金係（市役所1階、窓口155、☎内線337・338）

／岩木総合支所民生課（☎82・3111、内線656）

／相馬総合支所民生課（☎84・2111、内線836）

総合学習センターのパソコンチャレンジ講座

▽とき 水曜コース＝10月8日・15日・22日／金曜コース＝10月10日・17日・24日

※時間は、いずれも午前10時～午後3時。

▽ところ 総合学習センター（末広4丁目）

▽内容 ワード2003を利用した文

書作成、チラシや名刺作りなど

▽対象 市民＝各コース30人（文字入力ができる人）

▽参加料 無料

▽持ち物 筆記用具、USBメモリかCD-R／RW

▽問い合わせ・申込先 学習情報館（総合学習センター内、☎26・4800）へ。

軽スポーツ体験教室

▽とき 11月の毎週水曜日、午前10時～11時半

▽ところ 克雪トレニングセンター（豊田2丁目）

▽内容 ストレッチ体操、軽スポーツ（スカイクロス、ペタンク、リングリングゲーム）

▽対象 市民120人

▽参加料 無料（スポーツ安全保険に加入を）

▽持ち物 フェースタオル、飲み物

▽申し込み方法 往復はがきに、住所・氏名・電話番号・生年月日・教室名を記入し、10月17日までに克雪トレニングセンター（〒036・8101、豊田2丁目3）へ。

※はがき1枚で1人までとし、応募多数の場合は抽選で決定します。

▽問い合わせ先 克雪トレニングセンター（☎27・3274）

バランスボール教室（後期）

▽とき 11月8日～12月6日の毎週土曜日、午後6時半～7時半

▽ところ 岩木B&G海洋センター（兼平字猿沢）

▽内容 意識しない筋肉の働きやバランス感覚を養い、負担をかけないエクササイズ

▽対象 高校生以上の市民130人

▽参加料 無料（本教室での受傷時に有効な傷害保険等に加入を）

▽持ち物 バランスボール ※15個まで貸し出しします。

▽問い合わせ・申込先 電話またはファクス（住所・氏名・年齢・電話番号を記入）で、岩木B&G海洋センター（☎82・5700、ファクス82・5701）へ。

その他

国保の新被保険者証の確認を

新しい国民健康保険被保険者証を9月19日に発送しました。今年から、被保険者一人1枚になりましたので、一世帯に被保険者の人数分を送付しています。

新しい被保険者証はカード型で、一般退職とともに「水色」です。手元に届きましたら、

乳幼児医療費給付制度を改正

平成20年10月から、乳幼児医療費給付制度が次のようになります。

■対象が拡大・・・満4歳以上小学校就学前までの幼児（以下4歳以上幼児という。）は、入院だけが対象でしたが、10月1日診療分からは外来も対象となります。

■自己負担金の支払い・・・3歳以下の乳幼児は、入院も外来も自己負担金はありません（保険適用外は除く）が、4歳以上幼児は、一人につき1か月で1,500円の自己負担金が必要となります（入院は今までどおり1日500円）。

■医療機関等での支払い・・・4歳以上幼児が医療機関等の外来で治療を受けたときは、これまでと同じように、窓口で一部負担金2割をお支払いください。支払額が一人1か月1,500円を超えた場合、乳幼児医療費給付の申請をしてください。



■申請方法・・・4歳以上幼児の外来の医療費給付については、医療機関等で支払った領収書を添付した申請を提出してください。後日、保護者に1か月1,500円を差し引いた金額を支給します。申請には領収書、印鑑、健康保険証が必要です。

■受給資格証・・・4歳以上幼児は、これまでと同じように、入院の場合のみ受給資格証（橙色）を交付します。外来の場合は受給資格証を発行しませんので、医療機関等に提示する必要はありません。

■保護者へのお知らせ・・・現在、満4歳以上幼児の保護者には9月末に、これから4歳になる幼児の保護者には4歳から6歳の誕生月に、所得制限で対象とならない場合などを除き、乳幼児医療費給付制度のお知らせを送付します。

■請求できる期間・・・毎月請求の手続きができない人は、数か月分をまとめて請求することもできます。ただし、2年間を超えると支給できなくなりますのでご注意ください。

▽問い合わせ先 国保年金課国保給付係（市役所1階、窓口157、☎内線209）



緑の相談所

【展示会】

- 木の実・草の実展 2日～5日
- 青森県おもと名品展 10日～13日
- 花の会作品展 10日～13日
- 盆栽研究会盆栽展 16日～19日
- 盆友会盆栽展 22日～26日

- 盆栽作風会盆栽展 27日～29日
- さつき愛好会秋季展 30日～11月3日

【講習会など】

- 秋植え球根の植え付けと管理 4日、午後1時半～3時半
- 観葉植物秋以降の管理 11日、午後1時半～3時半
- 弘前公園古木・名木めぐり 12日、午前10時～正午（午前9時半から受け付け、小雨決行）
- 移動緑の相談所 17日～19日、「津軽の食と産業まつり」会場内（豊田2丁目、克雪トレーニングセンター）
- 訪問相談 4日・11日 ※樹木医による庭木の出張診断です。電話で申し込みを。

【弘前城植物園】

- …今月見られる花】シュウメイギク、ホトトギス、キク、フランクリンノキ、ハギ、フジバカマなど
- 休館日 6日・14日・20日
- 問い合わせ先 緑の相談所（☎33・8737）



- 弘前市役所 ☎35・1111
- 岩木庁舎 ☎82・3111
- 相馬庁舎 ☎84・2111

労働者が事業主からの申請により、青森県労働委員会の「あつせん員」が意見の調整や助言を行います。

▽問い合わせ先 労働相談：青森県労政・能力開発課（青森市長島1丁目、青森県庁南棟4階、☎青森017・773・1777）／個別労使紛争あつせん：青森県労働委員会事務局審査調整課（青森県庁北棟8階、☎青森017・734・9832）

農業ヘルパー募集

農協が無料の職業紹介所を開設して、生産者に紹介します。

▽募集期間 随時

▽作業期間 10月～11月

▽作業内容 りんごの農作業

青年海外協力隊 秋の募集説明会

説明会への参加は無料で、予約の必要はありません。

▽とき 10月17日（金）午後6時半～8時半

▽対象 園地まで通勤可能な人

▽賃金 時給619円以上（園主との話し合いで決定）

▽作業時間 午前8時～午後5時（ヘルパーの希望を考慮）

▽問い合わせ・申込先 J A つがる弘前農作業従事者無料職業紹介所（五代字早稲田、指導課内、☎82・1053）／J A 相馬村無料職業紹介所（五所字野沢、農業振興課内、☎84・3215）

通貨・証券などの返還

税関では、預かっている次の通貨・証券などをお返しします。

○終戦後、海外から引き揚げてきた人が、上陸港の税関・海運局に預けた通貨・証券など

▽ところ 弘前文化センター（下白銀町）

▽内容 事業説明、個別応募相談、隊員の体験談や活動報告、JICAボランティアを考えるワークショップなど

▽資格 満20歳～39歳の日本国籍のある人

▽問い合わせ先 国際協力機構東北支部（☎仙台022・223・4772）

10月17日（金）まで発売中

オータムジャンボ 市町村振興宝くじ

1等・前後賞合わせて2億円

この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりに使われています。

○海外の集結地において領事館などに預けた通貨・証券などのうち、日本に送り返されたもの

心当たりがある人は、上陸港を所轄する税関または函館税関青森税関支署（☎青森017・734・0780）へお問い合わせください。

障害者職業訓練校 平成21年度訓練生を募集

【募集科及び募集定員・期間】

科名	対象者	募集定員	募集期間	訓練期間
製版科	身体障害者	各15人	10月1日～31日	1年間 (平成21年4月～22年3月)
事務科				
作業実務科	知的障害者	10人		

【選考日及び方法】

科名	選考日	選考会場	選考方法	合格発表
製版科	11月11日	県立障害者職業訓練校（緑ヶ丘1丁目）	職業適性試験、面接 適性試験、面接（保護者同伴）	11月20日
事務科	11月11日			
作業実務科	11月12日			

▽応募資格 ①障害者手帳を所持し ②障害が安定し1年間の訓練に耐えられ ③集団生活に支障がなく ④訓練終了後、就職を希望する人

▽願書受け付け 弘前公共職業安定所（南富田町）にある願書に記入し、同所に提出を。

▽問い合わせ先 県立障害者職業訓練校（☎36・6882）

インターネット公売

公売は、市税などの滞納により差し押さえた財産を売却し、その代金を滞納市税などに充てるものです。

10月はヤフーが運営するインターネットオークションを利用して、差し押さえた財産などを公売します。

入札に参加するためには、10月16日の午後5時までに、「YAHOO!サイト（弘前市インターネット公売）」からの参加申し込みが必要で、インターネット公売についてのガイドラインは市のホームページに掲載していますので、ご覧ください。

▽公売財産 不動産

▽入札期間 10月22日の午後1時～10月29日の午後1時

▽問い合わせ先 収納課整理係（市役所2階、窓口204、☎内線237・394）

秋の火災予防運動

10月20日から26日までの1週間、青森県下一斉に「秋の火災予防運動」が実施されます。

これからは日増しに寒くなり、火を取り扱う機会が多くなり、火災の発生が心配されます。

違反建築防止週間

10月11日から17日までは違反建築防止週間です。

市では違反建築を未然に防止し、良好な市街地環境の維持と建築物の適法性を確保するため、違反建築防止週間の

中小企業者向け 金融相談会

商工組合中央金庫と日本政策金融公庫（旧国民生活金融公庫）では、毎月、中小企業者向け金融相談会を行っています。

▽とき 毎月第2木曜日 ※10月は9日に行います。

▽ところ まちなか情報センタ（土手町）2階交流室

▽問い合わせ先 商工労政課（☎内線259）

10月は労働保険 適用促進月間

事業主の皆さん、労働保険の加入手続きはお済みですか。

労働者を1人でも雇っている事業主（農林水産業の一部

労働相談と 個別労使あつせん

青森県では、労使間トラブルを解決するため、無料で相談できる次の窓口を設置しています。

【労働相談】 「解雇を突然言い渡された」「労働条件を一方的に変更された」など、労使間トラブルで悩んでいる人のための相談窓口です。

【個別労使紛争あつせん】 個々の労働者と事業主との間に生じた紛争で、当事者間での解決が困難な場合に、労

を（除く）は、労働保険（労災保険・雇用保険）に加入する義務があります。

手続きを行わない場合、職権により強制適用されることとなりますので、労働保険の加入手続きはお早めに行ってください。

○労災保険：業務災害及び通勤災害により負傷等をした場合、補償を行うもの

○雇用保険：労働者が失業した場合、生活安定及び再就職促進のため失業給付を行うもの

健康ですか

弘前市保健センター
(野田2丁目)
☎ 37・3750

乳幼児の健康診査

母子健康手帳を持参してください。場所は弘前市保健センターで、料金は無料です。

【4か月児・7か月児】
各指定医療機関での個別健診で、対象児には通知します。

【1歳6か月児】
とき 10月22日・23日
受付 午後0時半～1時半
対象 平成19年4月生まれ

【3歳児】
とき 10月8日・9日
受付 午後0時半～1時半
対象 平成17年3月生まれ

【1歳児歯科】
とき 10月15日・16日
受付 午後0時半～1時
対象 平成19年10月生まれ

【2歳児歯科】
各指定歯科医療機関での個

検診の受診を

別健診で、対象児(平成18年4月生まれ)には通知します。

4月1日から、市が行う基
本健康診査は特定健康診査に
変わりました。詳しくは、加
入している各医療保険者へお
問い合わせください。

セット検診、女性の健康診
査は、受診希望日の1週間前
までに電話で弘前市保健セン
ターへ申し込んでください。

なお、市の各種検診は、年
度内(4月1日～3月31日)
に1回受診できます。

【セット検診】
とき 10月15日・16日・
20日・24日・28日、11月4日・
7日

▽対象 40歳以上の市民
(職場で受診できる人を除く)

▽定員 各日20人

▽内容 胃・肺・大腸がん
検診(50歳以上で希望する人
は前立腺がん検診も受診でき
ます。費用は別途500円)

▽料金 1900円(市の
国保加入者は950円、70歳
以上の人は無料)

【女性の健康診査】
とき 10月23日・31日、
11月12日

※10月の託児日は31日(乳幼

児10人まで)。

▽対象 18歳～39歳の主婦
や自営業の女性で、健康診査
を受けていない人(職場で受
診できる人、妊娠中やその疑
いのある人を除く)

▽定員 各日10人

▽内容 血液検査 尿検査
内科診察、骨密度検査など

▽料金 800円

【指定医療機関での検診】
胃・大腸・前立腺がん検診・
骨密度検診・結核検診は、弘
前市保健センターのほか、市
指定医療機関でも受診できま
す。希望する場合は、直接指
定医療機関へお問い合わせく
ださい。

※市の指定医療機関や検診な
どの料金は「健康と福祉」ご
み」で確認するか、弘前市保
健センターへお問い合わせく
ださい。

定期予防接種

定期予防接種を受けるとき
は、「予防接種と子どもの健
康」をよく読み、予防票に記
入後、母子健康手帳と一緒に
持参してください。料金は
いずれも無料です。予防票がな
い人は、弘前市保健センタ
ーへ連絡してください。

※日本脳炎の予防接種は、現

こころの健康相談

弘前市保健センターでは、本人や
家族の心の悩みについて、保健師が
面接して相談に応じています。相談
内容は秘密厳守で応じています。希
望する人は事前に電話で申し込んで
ください。なお、相談は無料です。

▽10月・11月の相談日
10月＝7日(火)・21日(火)
11月＝4日(火)・18日(火)
※時間はいずれも午前9時～午後3
時半

▽ところ 弘前市保健センター(野
田2丁目)

▽予約受付時間 午前8時半～午後
5時(土・日曜日、祝日を除く)

▽問い合わせ・予約先 弘前市保健
センター(☎ 37・3750)

在、差し控えています。日本
脳炎に感染するおそれが高い
など、ワクチン接種を希望す
る場合は、指定医療機関に相
談してください。

【麻しん風しん混合・三種混
合・二種混合・BCG】
通年接種です。対象は「健
康と福祉」ごみ」で、受付時
間は指定医療機関で確認し、
早めに接種してください。

○麻しん風しん混合：1期 1
歳～2歳未満/2期 5歳
～7歳未満で小学校就学前の
1年間(4月1日～3月31日)
※平成20年4月1日から5年
間の期限付きで、麻しん・風
しんの定期予防接種対象が、
現在の1期と2期に加え、3
期(中学校1年生に相当する
年齢の者)、4期(高校3年
生に相当する年齢の者)に拡

大されました。対象に当たる
人は、忘れずに接種してくだ
さい。

○三種混合 生後3か月～7
歳6か月未満(1期初回は20
日～56日間隔で3回接種)

※接種間隔から外れると有料
になります。医師に相談し、
計画を立てて早めに接種を。
○二種混合 11歳～13歳未満
※三種混合予防接種の初回と
追加を終了した児童、まだ接
種していない児童は早めに医
師に相談してください。

○BCG 生後3か月～6か
月未満

※接種間隔が短いので、3か
月になったら早めに接種を。

【広域予防接種】
定期予防接種を何らかの事
情により市内の指定医療機関
で接種できない場合は、県内

食事と運動のバランス アップセミナー

生涯を通した健康づくりの
ために、ちよつとやってみよ
うと思うことを、みんなで楽
しく、おいしく体験してみま
せんか。

▽実施日・会場・内容 下表
参照

※時間はいずれも午前9時半
～正午。食事編では試食があ
ります。また、運動編では軽
く体を動かします。治療
中の人は主治医に相談して申
し込みを。

▽対象 2回以上参加でき
(会場はどちらでも構いませ
ん)、健康診査・人間ドック
を受けた40歳～74歳の人で①
か②に該当する人

①BMI(肥満度)が25以上
または腹囲が男性85cm以上、
女性90cm以上

②次の項目に2つ以上当ては
まる人

○血圧：収縮期血圧130mmHg
以上または拡張期血圧85mmHg
以上

○脂質：中性脂肪150mg/dl
以上またはHDLコレステ
ロール40mg/dl未満

○血糖：空腹時血糖100mg/dl
以上またはHbA1c

内 容	実施日	会場	実施日	会場
実践！お腹の壁を克服する食事のコツ	11月10日(月)	弘前市保健センター (野田2丁目)	1月16日(金)	相馬老人福祉センター (五所字野沢)
おなか 引っこめ運動作戦	11月17日(月)		1月23日(金)	
ストレスなしの賢いあぶらのとり方	11月26日(水)		1月30日(金)	
わき腹のたるみ解消運動	12月1日(月)		2月6日(金)	
美味しくとっておきのバランス食	12月8日(月)		2月13日(金)	
ちよつと変わったながら運動	12月16日(火)		2月20日(金)	

※各会場とも受付時間は午前9時～9時20分です。

高齢者インフルエンザ 予防接種

他市町村でも接種することが
できます。詳しくは、弘前市
保健センターへお問い合わせ
ください。

【ポリオ(小児まひ)】
日程と会場は「健康と福祉
」ごみ」で確認してください。
どの会場でも接種できます。

▽実施期間(秋期) 9月3
日～11月27日

幼児子育て教室

65歳以上の高齢者を対象
に、インフルエンザ予防接種
を一部公費負担(自己負担1
000円)で実施します。接
種については、「健康と福祉
」ごみ」に掲載の指定医療機
関へ直接お問い合わせを。

▽実施期間 11月1日～12月
31日

▽とき 10月17日(金)
午前9時半～午後0時半

▽ところ 弘前市保健センタ
ー

乳児子育て教室 「赤ちゃんルーム」

▽とき 10月17日(金)
午前9時半～午後0時半

▽ところ 弘前市保健センタ
ー

▽内 容 育児相談、身長・
体重測定/子育て交流会(申
込制、定員40人)/歯のミニ
講話

マタニティ

歯科健康診査

▽とき 10月26日(日)
午後0時半～3時

▽受付 正午～午後0時半

▽ところ 弘前市保健センタ
ー

▽内 容 子育て相談/栄養
士によるミニ講話/親子遊び
/身長・体重測定(希望者)

▽対象 市内在住の幼児
(1歳以上)とその家族 40
組(先着順)

▽参加料 無 料

▽持ち物 母子健康手帳

▽申込先 10月3日～14日
に、弘前市保健センターへ。

▽とき 10月24日(金)
午前10時～10時半
(教室終了は午後0時半)

▽ところ 弘前市保健センタ
ー

▽内 容 子育て相談/婦人科
検診/ブラッシング指導/パ
パマ教室(ママの栄養食展示、
パパとママの育児体験、赤
ちゃんのお風呂実演、ビデオ
シアターなど)/チャイルドシ
ートの説明

▽対象 市内在住で妊娠12
週～31週(4か月～8か月)
の人とその家族

▽定員 40人(先着順)

▽参加料 無 料

▽持ち物 母子健康手帳

▽申込先 10月3日から、弘
前市保健センターへ。

青森県運動器の10年・骨と
関節の日」市民公開講座

▽とき 10月18日(土)
午後3時～

▽ところ 駅前市民ホール
(駅前町、ジョッパル4階)

▽内 容 講演「運動器不安
定症と骨粗鬆(しょう)症」
転ばぬように折らないよう
に」：講師・中村吉秀さん(弘
前大学医学部整形外科講師)
※骨と関節についての医療相
談も行います。

▽入場料 無 料

▽問い合わせ先 青森県臨床
整形外科医会(山内整形外科、
☎ 26・3336)

5・2%以上

▽定員 各30人(先着順)

▽問い合わせ 申込先 10月
8日の午前8時半から、電話
で弘前市保健センター(野田
2丁目、☎ 37・3750)へ。
※各開催日の10日前までに申
し込みを。



弘前市急患診療所(弘前市保健センター内、☎ 34・1131)は、夜間(午後7時～10時半)や日曜・祝日(午前10時～午後4時)の内科、小児科の診療を行っています。
このほか、救急の場合は弘前消防本部の救急病院紹介(☎ 32・3999)で当番病院を確認してから受診してください。



弘前市は毎月5日を「りんごを食べる日」と条例で決めました。
(平成19年4月1日施行)

岩木地区町会公民館 『花いっぱい運動花壇コンクール』



審査風景

8月28日、岩木地区「花いっぱい運動花壇コンクール」の審査が行われました。

審査は、花壇の美しさ、管理・デザインの工夫などを中心に行い、昨年に引き続き「百沢公民館」が最優秀賞に輝きました。審査結果は下表の通りです。

各町会、公民館の花壇審査の様子は、中央公民館岩木館ロビーに10月末まで写真で展示しています。

【審査結果】

最優秀賞	百沢公民館
優秀賞	賀田公民館／駒越町会／宮地町会／熊嶋公民館／兼平公民館
努力賞	五代公民館／高屋公民館／真土公民館／常盤野公民館／鼻和公民館

津軽ひろさき歴史文化観光検定

津軽ひろさき 検定



第2回初級試験

検定キャラクター
「おべさま」

*「おべさま」…津軽弁で「もの知り」の意味

「津軽ひろさき歴史文化観光検定」第2回初級（おべさま検定）試験が実施されます。年齢、国籍などを問わず誰でも受けられますので、みんなでチャレンジしてみませんか。

▽試験日 11月9日（日）、午前10時半～

▽開催場所 弘前会場＝弘前大学（文京町）／首都圏サテライト会場＝人事労務会館（東京都品川区）

▽受験料 一般＝3,000円／中学生以下＝1,500円

※既合格者は、一般＝2,000円／中学生以下＝1,000円

▽合格発表 11月28日（金）

▽要項・申込書設置場所 弘前観光コンベンション協会（下白銀町、市立観光館内）、弘前市役所、岩木・相馬庁舎、市の主な施設など

▽申し込み 10月10日（金）までに、申込書に必要事項を記入し、受験料を添えて弘前観光コンベンション協会など所定の場所で申し込みを。

▽問い合わせ先 弘前観光コンベンション協会（☎35・3131）

※詳しくは、弘前観光コンベンション協会ホームページ（<http://www.hirosaki.co.jp/>）に掲載しています。

なお、中級（おべ博士検定）試験は、平成21年3月実施予定です。

今月の市税などの納期

固定資産税 第3期
国民健康保険料 第4期
介護保険料 第4期
後期高齢者医療保険料 第4期

納期限＝10月31日

☆毎月第4日曜日は納税相談日です。

☆納税は便利で確実な口座振替のご利用を。

市のテレビ番組 スポット弘前くらしと話題

住人と商人と旅人がふれあう「まちなか」

～中心市街地活性化に向けて～

にぎわいのあるまちづくりを推進するため、今年7月に策定した、中心市街地活性化基本計画について紹介します。

○放送日 10月11日（土）、午前9時45分～10時

○放送局 青森放送（RAB）